

		主時制			完了時制
		未来時制	現在時制	過去時制	
be動詞	be動詞の形	1. will be (原型) ← willは助動詞 2. be(主語の活用) going to be	is, am, are	was, were	have(has) been ・be動詞の過去分詞形が ・have, hasなら現在完了形 →この列最下段(★3)参照
	平叙文 否定文 疑問文	・It will(is going to) be fine tomorrow. ・It will not be fine tomorrow. ・Will it be fine tomorrow? ・It is going to be fine tomorrow. ・It is not going to be fine tomorrow. ・Is it going to be fine tomorrow?	平)・She is fine. ・I am fine. ・You are fine. ↓否定文はbe動詞の後にnotを入れる。 否)・She is not fine. ・I am not fine. ・You are not fine. ↓疑問文はbe動詞(V)+主語(S)と入替る。 疑)・Is she fine? ・Are you fine?	平)・She was fine. ・I was fine. ・You were fine. ↓否定文はbe動詞の後にnotを入れる。 否)・She was not fine. ・I was not fine. ・You were not fine. ↓疑問文はbe動詞(V)+主語(S)と入替る。 疑)・Was she fine? ・Were you fine?	平)She has been to Canada twice.(彼女はカナダに2回行った) ↓否定文はbe動詞の後にnotを入れる。 否1)She has not been to Canada.(彼女はカナダに行っていない) 否2)She has never been to Canada.(彼女はカナダに一度も行ったことがない) ↓疑問文はbe動詞(V)+主語(S)と入替る。 疑)Has she ever been to Canada?(彼女はカナダに行ったことがあります)
一般動詞	一般動詞の形	1. will 原型動詞 ← willは助動詞 2. be(主語の活用) going to 原型動詞 補)to不定詞 そんなものと聞いてください。 willを使った場合は、助動詞の構文なので(canと同じ)、必ず動詞は原型に！ 否定はwill not, 疑問文はWill 主語(S)という文頭になる。↓	・原型 (主語が 一人称、二人称、複数) ・三人称単数形(三単元) 三単現動詞の作り方 ・通常は原形にsを付ける。 like→likes, sing→sings ・s, sh, ch, o, x で終わる語は es を付ける。 catch→catches, pass→passes, go→goes finish→finishes, wish→wishes, fix→fixes ・「子音字+y」で終わる語はyをiに変えてesを付ける。study→studies ・不規則 have→has	過去形 過去形動詞の作り方 ・通常は原形に ed を付ける。 wonder→wondered ・eで終わる語は d だけを付ける。like→liked ・「子音字+y」で終わる語は y を i に変えて ed を付ける。study→studied ・「短母音+子音字」の語は子音字を重ねて ed を付ける stop→stopped ・不規則はしっかり覚える。	have(has) 動詞の過去分詞形 過去分詞動詞の作り方 ・原則は過去形と同じ形。 ・不規則あり、要暗記 ・不規則はしっかり覚え
	平叙文 否定文 疑問文	・You will study English tomorrow. ・You will not study English tomorrow. ・Will you study English tomorrow? ・You are going to study English tomorrow. ・You are not going to study English tomorrow. ・Are you going to study English tomorrow?	・She likes him. ・She does not like him. ・Does she like him?  ・You like me. ・You do not like me. ・Do you like me?	・She liked him. ・She did not like him. ・Did she like him?  ・You like me. ・You did not like me. ・Did you like me?	平)I have climbed Mt. Fuji two times.(私は富士山に登ったことが2回ある) ↓否定文はbe動詞の後にnotを入れる。 否1)I have not climbed Mt. Fuji.(私は富士山に登っていません) 否2)I have never climbed Mt. Fuji.(私は富士山に登ったことがありません) ↓疑問文はbe動詞(V)+主語(S)と入替る。 疑)Have you ever climbed Mt. Fuji?(あなたは今までに富士山に登ったことがあります)
説明とポイント	1.単純未来	・時間が経てば自然にそうなる事を表す。 ・話手の推測を表す。 I will be fifteen years old next year (私は来年15歳になる。) He will be in time for the bus. (彼はそのバスに間に合うでしょう。)	1. 現在の動作・状態 I am hungry. (私はお腹が空いた。) He comes here. (彼が来る。)	1. 過去の動作・状態 (副詞句を伴うことが多い。) He came home about eleven last night. (昨夜、彼は11時に帰宅した。)	1. 結果 「～してしまつた。」「～してしまい、今は…だ。」 He have gone to America. (彼はアメリカへ行った) → He went to America.+ He is not here. と分解
	2.意志未来	I will do my best. (最善を尽くすつもりです。)  I am going to learn English. (私は英語を学ぶつもりです。)	2. 現在の習慣的行為 She goes to church on Sunday. (彼女は日曜日に教会へ行きます。)	2. 過去の習慣的行為 ・副詞句を伴うことが多い。 The airplane flew every Sunday at that time. (その当時、その飛行機は、毎週日曜日に飛んでいた。) ・used to～ I used to do fishing. (私はよく釣りをしたものだ。) ・would often～ He would often come to see me. (彼はよく遊びに来たものだった。)	2. (変化の)完了 「～したところである。」 just already yetがある。 I have just finished my homework. (私はちょうど宿題を終えたところです。)
	未来を表す他の表現	・be about to do(～) ちょうど、～しようとしている。 I am about to go out, but I can't. (私は出かけようと思つていますが、できません。) ・be to do(～) ～することになっている。 You are to be honest. ・往來発着を表す動詞と未来の副詞句を伴って未来を表す。 現在形(★1)、進行形(★2)参照	3. 真理・事実(慣用句)を表す。 Two and four are six. (2足す4は6です。)	3. 完了時制の代用 ・never(決して～ない)、ever(今までに)と一緒に使う Did you ever see a wolf? = Have you ever seen a wolf? (今までの狼を見たことがありますか。) ・after～(～の後に)、before～(～の前に)の節内でのみ。 After I finished reading the book, I returned it to him. その本を読み終えた後で、私はそれを彼に返した。	3. 経験 「～したことがある。」 ever, never, often, once I have climbed Mt. Fuji once(twice). (私は一度(2回)富士山に登りました。) I have never climbed Mt. Fuji. (私は富士山に登ったことがありません。) I have been to Hokkaido. (私は北海道に行ったことがありません。) I have been to 行ったことがある。熟語と思うべし
	4.継続	Father has been in Kyushu for two weeks.(父は九州に2週間滞在しています。)	4.未来を表す。 ・往來発着を表す動詞に未来の副詞句がついた場合 She leaves for Paris tomorrow. (彼女は明日パリに発ちます。) 往:go, 来:come, 発:leave, start, 着:arrive ・if～(もし～なら), when～(～する時), till～(～まで)で導かれる文節内 Please tell him my address when you see him. (彼と会ったら、私の住所を教えてください。) If you remain getting wet with rain you will catch a cold. (雨で濡れたまま歩いていたら、あなたは風邪を引きますよ。)	4. 完了時制の代用 ・never(決して～ない)、ever(今までに)と一緒に使う Did you ever see a wolf? = Have you ever seen a wolf? (今までの狼を見たことがありますか。) ・after～(～の後に)、before～(～の前に)の節内でのみ。 After I finished reading the book, I returned it to him. その本を読み終えた後で、私はそれを彼に返した。	4. 継続 Father has been in Kyushu for two weeks.(父は九州に2週間滞在しています。) have been in 「ずっといる。」熟語とと思うべし I have known him since he was a child. (私は彼と知り合っているのは、彼が子供の時からです。) since～(～以来)、for～(～の間)などの副詞句 注意点 ・yesterday, last (night year), (three years) ago(副詞句を完了時制で使用できない。) ・疑問副詞whenの文では、完了時制を使用しない ・just nowは「たった今」という意味だが、完了時制は「今」を指すので、完了時制では使えない。文の基準の時間は主時制(現在)に完了形を併用し、幅を持たせる以下の複合時制 ・現在完了形では、have(has)+動詞の過去分詞 ・過去完了形では、had +動詞の過去分詞 ・未来完了形では、will have 動詞の過去分詞

